

第五十九回帝國議會  
衆議院

# 抵當證券法案外九件委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案(審査終了ノ者ヲ除ク)  
無盡業法改正法律案(政府提出)

## 會議

昭和六年三月十日(火曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 荒川 五郎君

理事 小峰 滿男君

理事 篠原 陸朗君

理事 大崎 清作君

理事 板谷 順助君

小村 俊一君 佐藤謙之輔君

藍川 清成君 松田 正一君

本多眞喜雄君 關口 志行君

横川 重次君 磯部 清吉君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏省銀行局長 大久保偵次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

無盡業法改正法律案(政府提出)

○荒川委員長 是ヨリ抵當證券法案外

九件ノ委員會ヲ開キマス、本日ハ無盡

業法改正法律案ノ審議ニ入リマス、逐

條審議ニ入ル初メニ當ッテ大體ノ說明

ヲ政府ヨリ希望致シマス

○小川政府委員 私ヨリ大體ノ說明ヲ

致シマス、本會議デモ御説明申上ゲテ

置キマシタケレドモ、少シソレヨリモ

立入ッテ話ヲシテ見タイト思ヒマス、無

盡ハ最モ古イ沿革ヲ有スル我國固有ノ金融方法デアリマシテ、早クヨリ津々浦々迄行ハレ、長イ間中小産業者ノ産業及ビ經濟ノ發達ニ多大ノ貢獻ヲ爲シ來ッタモノデアリマス、現行ノ無盡業法ハ大正四年ニ初メテ制定セラレタモ

ノデアリマシテ、爾來無盡業者ノ適從スベキ基準デアルト共ニ、其監督ノ規定トシテ、今日迄斯業ノ發展ニ多大ノ貢獻ヲ爲シ來ッタモノデアリマス、即チ業法施行ノ翌年デアリマスル大正五年末當時ト、昭和四年末現在トヲ比較シテ見マスルト、無盡業者ノ數ハ百三十六ヨリ二百六十トナリ、此間公稱資

本金ハ七百四十餘萬圓ヨリ三千四百餘萬圓トナリ、給付契約高ニ於キマシテハ、四千萬圓ヨリ、十億八千萬圓ト云フ非常ナ躍進ヲ示シテ居リマシテ、實ニ二十五倍ニ上ッテ居ルデアリマス、而シテ全國無盡業者ガ一年間ニ給付融

通致シマスル金額ハ、最近約二億圓ニ及ンデ居リマス、此數字ニ依リマシテモ、如何ニ無盡業ナルモノガ、中小産業ノ金融ニ貢獻シツ、アルカノ一端ヲ窺フニ足ルト思ハレルデアリマス

併ナガラ其後時勢ノ進運ニ伴レ、現行法ノ規定ヲ以テシテハ、庶民金融機

關トシテノ活動ニ稍、不便ヲ感ゼラルル點ノアリマスコト、又一面數多キ無盡業者ノ中ニハ今尙其經營ヲ誤リ破綻ヲ暴露致シマシテ、多數ノ加入者ニ對シ不測ノ損害ヲ蒙ラシメ、延イテハ斯業ニ對スル一般ノ社會的信用ヲスラ傷フモノガ往々ニシテアルデアリマス

政府ハ無盡業法施行以來ノ實績ニ鑑ミマシテ、斯業ヲシテ益、其ノ庶民金融機關タル機能ヲ發揮セシムルガ爲メ、及ビ無盡業者ノ基礎ヲ堅實ニスルコトニ依リ、一般社會的信用ノ向上ヲ期スルガ爲ニ、今回ノ改正法律案ヲ提出スルニ至ッタデアリマス

今其主ナル事項ニ付テ申上ゲマスレバ、無盡ハ營業トシテ之ヲ爲ストキハ之ヲ商行爲トスル旨ノ規定ヲ設ケ、又無盡業ノ主體ヲ株式會社ニ制限致シ、且ツ無盡業者ノ營業上ノ資金運用ノ範圍ヲ擴張シマシテ、其投資シ得ル有價證券中ニ、産業組合中央金庫ノ發行致シマス産業債券ヲモ新ニ之ヲ認メ、且ツ掛金者ニ對スル貸付金ノ中デ貸付ノ當時既ニ掛金者ガ拂込ミタル金額ヲ限度トスル貸付ハ、之ヲ無制限ニ爲シ得ルコトトシタデアリマス、更ニ自己

ノ經營スル無盡ニ加入スルコトヲ得ザル者ノ中ニ、代理店主ヲ追加スルコトニ依リマシテ、現行法第十二條ノ趣旨ヲ徹底セシメ、其他無盡會社ノ監查役ヲシテ每營業年度一回監查書作成ノ義務ヲ負ハスコトニ依リマシテ、内部監查ノ充實ヲ圖ッタデアリマス、更ニ現行法第十八條ノ規定ニ因ル無盡收支計算簿ヲ廢止シマシテ、之ニ代フルニ第十九條ノ規定ニ改正ヲ加ヘ、掛金者ハ無盡會社ニ對シ、其加入シタル無盡ノ掛金者五分ノ一以上ノ同意ヲ以テ其加入シタル無盡ニ關シ、命令ノ定ムル事項ニ付説明書ノ交付ヲ求ムルコトヲ得ト爲スコトニ依リマシテ、從來無盡業者ガ煩トシテ居リマシタ無盡收支計算簿ヲ廢止スルト同時ニ、掛金者ノ利益ヲ保護スルニ遺憾ナキヲ期シタノデアリマス、此他銀行法、貯蓄銀行法及信託業法等ニ規定セラレタル事項ニシテ、本法ニモ之ト同様ノ規定ヲ置クコトヲ適當ト認メタル事項、例ヘバ無盡會社ノ出張所又ハ代理店ノ設置、及本店以外ノ營業所ノ位置變更ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ要スルコトトシ、或ハ無盡會社ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ガ他ノ會社ノ常務ニ從事セント

スルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベキコトト爲シ、其他無盡會社ノ清算事務ヲ裁判所ノ監督ニ屬セシメ、且ツ無盡會社ノ清算破産又ハ強制和議ノ場合ニ於ケル裁判所ト無盡會社ノ検査監督ニ從事スル官吏トノ共助ニ關スル規定ヲ設ケタル等種々ノ新ナル規定ヲ設ケタノデアリマス

尙ホ本法施行ノ結果、是マデノ無盡業者ニ急激ナル變化ヲ與フルコトヲ緩和スルガ爲メ、夫々必要ナル經過の規定ヲ設ケタノデアリマス、本改正法律案提出ノ趣旨ハ大體右様ノ次第デアリマスカラ、何卒御審議アラントヲ希望致シマス

○荒川委員長 大體ノ御質問ハアルカモ知レマセヌガ、逐條審議シナガラ併セテ御質問下サツテ宜シイト思ヒマスカラ、直ニ逐條審議ニ入リマス、第一條カラ第十條マデガ總則的ノ規定ト認メマス、十條マデノ質問ヲ希望シマス

○横川委員 私ハ提案ノ御趣旨ニ關スル質疑及本案ニ關聯致シマスル根本ノ問題デアリマス、中小產業者ノ金融ノ問題ニ付キマシテ、二三簡單ナ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ本案ト直接ノ關係ヲ持ッテ居リマセヌノデアリマスガ、先ヅ第一ニ物價ノ問題ニ付キマシテ、一寸御意見ヲ伺ヒタイト思

ヒマス、現政府ハ物價指數特ニ日銀ノ作成シテ居リマスル物價指數ヲ基礎ニシテ各種ノ政策ヲ樹立ナサツテ居ラレルヤウニ見受ケルノデアリマスガ、現ニ物價指數ハ昨年末以來可ナリノ騰貴ヲ見テ居リマシテ、世界ノ物價指數比較ヨリ觀察致シマスルト、相當内地物價ハ高位ニアルヤウニ感ゼラレルノデアリマスルガ、政府ノ所謂低物價政策ト云フ見地ヨリ申シマシテ、如何ナル程度ノ物價ノ基準ニアルコトガ、我國ノ物價ト致シマシテ適當ナモノデアリマスルカ、又現在ノ物價ガ外國ト比較シマシテ高位ニ在ルモノト致シマシテナラバ、現内閣ノ御方針ト致シマシテハ更ニ物價低落ノ御努力ヲ遊バサレルモノデアアルカドウカ、其點ヲ先ヅ御伺致シタイト思ヒマス

○小川政府委員 物價ノ程度ガ外國ノ物價ヨリハ高位ニ在ルト云フ御話デアリマシタ、是ハ御承知ノ通りニ昭和三年ノ七月ヲ百トシテ見テ、物價指數ヲ言ヒ現ハシテ居リマスガ、ズット何時モ百ノ所ヘ復歸スル方面カラ見マスト、倫敦トカ紐育ハモウ既ニ百ノ所ニ近付イテ來テ居リマスガ、日本ノハマダ少し隔リガアリマス、昭和六年一月ノ調ニ依リマスト、日本ノハ百二十六マデニナツテ居リマス、併シ日本ノガ常ニ英國トカ米國ヨリハ少し高位ニ在ルト云

フノハ、今日ニ始ツタ譯デハアリマセヌ、現内閣ガ出來マシテカラ物價ノ下ル程度ヲ見マスト、決シテ英米ト大シタ差ガアルトモ認メマセヌ、相當ニ下ツテ居リマス、唯日本ノ物價ガ百ノ所ヘ回復シナケレバナラヌモノデアアルカドウカニ付キマシテハ、是ハサウ數字的ニハ言ヘナイト思ヒマス、日本ノハ御承知ノ通り、物價ニハ外國貿易ニ關係ノナイヤウナ、日本デ出來テ日本デ消費セラル、物モ相當澤山ニアルト思フノデアリマス、唯數字ニ捉ハレテノ議論ハ出來ナイ、若シソレガ低物價政策ト同ジナラバ、其低物價政策ナルモノハ、相當ニ效果ヲ現シテ居ルト見テ居リマス、併シ其低物價政策ナルモノハ、御承知ノ通り畢竟スルニ生産費ヲ安クシテ、對外貿易ニモ都合ガ好クナツテ、日本ノ國際貸借ヲ宜クシテ行クト云フ所ニ一ツノ目標ヲ置イテ居ル譯デアリマス、數字のニ何處マデ行ッタナラバ宜イカト云フコトハ、是ハドウモ言ヒ難イコトデアアルト考ヘテ居リマス

○横川委員 大體政府委員ノ御説明ニ依リマシテ、納得ガ行ッタノデアリマスガ、唯現政府ガ今マデ執リ來ツタ政策ト云フモノガ、只今ノ御説明ト相反スルモノガ多クアルコトニ、私ハ記憶ヲ新ニスル者デアリマス、併シ是ハ本問題デアリマセヌノデ、此程度ニ止メテ置

キマス、本法案提出ノ御趣旨ノ御説明ヲ讀ミマスト、金融ヲ圓滑ナラシメルコトニ、其大體ノ御趣意ガアルヤウニ感ゼラレマスガ、曩ニ本議會ノ冒頭ニ於テ金融ニ關シマスル井上藏相ノ施政演說中ニハ、中小產業者ニ對スル金融ヲ圓滑ナラシムルコトハ、極メテ大切ナコトデアリマシテ、是ハ失業救済ト同ジク、政府ノ最モ重シク行ク政策デアルト云フコトヲ、御言明ニナツタノデアリマスガ、ソレト一方ニ此金融ノ問題ハ到底政府ノミノ力ヲ以テシテハ、之ヲ行フコトガ出來ナイカラ、宜シク民間ノ援助ニ俟ツノデアルト云フ御趣旨ノ御話ガアッタノデアリマスガ、本法案モ井上藏相ノ御説明ノ如ク、政府ノ力ノ足ラザル所ヲ補フ意味ニ於キマシテ、民間ノ援助ヲ求メル御趣意ガ、其提案ノ基礎的ナ理由デアアルカノ如ク吾々ハ考ヘルノデアリマスガ、左様デアリマスカドウカ、其點ヲ一寸御確メヲ致シタイ

○小川政府委員 一寸御趣旨ガハッキリ致シマセヌデシタカラ、御質問ノ趣旨ニ副フカドウカ分リマセヌガ、大藏大臣ノ財政演說ノ中ニハ、今御話ノ如ク、中小產業者ニ對スル金融ヲ圓滑ナラシムルコトハ、失業對策ト竝ンデ最モ必要ナモノデアルト云フヤウナコトカラ說キ起シマシテ、政府ノヤラウト

シタコトヲ述ベテ居リマス、預金部カラ信用組合ヲ通ジテ中小商工農業者ニ對シ二千萬圓ヲ融通スルコト、是ハ其後政府デ五百萬圓ノ増額ヲ致シ、爾來其貸付ハ大分進捗シテ居リマス、其外ニ農山漁村ノ救済資金トシテ、預金部カラノ融通ヲ決定シタモノガ七千萬圓、其一部ハ農山漁村ノ中小業者ニ對スル金融ノ援助デアリマス、併シ全國ニ互ル金融業者ニ對スル援助ノ如キハ、到底政府ノ力デ解決ノ出來ナイコトハ明カデアリマス、是ハ今質問ニナツタ通りデアラウト思ヒマス、詰リ政府ハ多數ノ銀行ノ死活ニ鑑ミテ、救済ノ貸出ヲ特ニ便利ニ實行スルヤウニモナツテ居ルガ、サウ云フヤウニナルコトヲ希望スル、ソレガ中小業者ノ金融ニ資スル所ガ多ク、民間ノ方ノ援ケヲ借リルト云フコトハ、斯ウ云フ時ニモ求メラレテ居ルノデアリマス、尙ホ政府ノ方針ニモアリマスシ、民間ノ方ノ御共助モ受ケルコトニナリマスレバ、今ノ貯蓄銀行法ノ改正、無盡業法改正法律案ヲ如何ニスルカ、是ハ政府ノ方針ガ實行ニナツテ、政府側ニ於テモ、努メテ居ル譯デアリマスガ、愈、ソレヲ改正法律ニ依ッテ融通シテ行クト云フコトニナリマスレバ、民間ノ御共助ヲ願フト云フコトニ見テモ宜シイノデアリマス、政府ノ努力ト民間ノ御共助ヲ

願ッテ、ソレデ中小業者ノ金融ヲ圓滑ニスルト云フ仕事ヲ完成シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

トシタ質問デアリマシテ恐縮致シマスガ、御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○横川委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、大體私が御確メシタ點ニ付テハ、或程度ノ是認ガアッタコトニ承知致シマシテ、更ニ質問ヲ續ケタイト思ヒマス、是ハ甚ダ概念的ナ質問デアリマシガ、先日來本委員會ニ於テ抵當證券法ト云フモノガ議セラレテ居ッタノデアリマスガ、大體ノ效力ハ都市ニ於テ發生スベキモノデアリ、又自然ノ結果カラ申シマシテ、金融業者ノ援助ト云フコトニ、大部分ニ於テ其效果ハ歸納出來ルベキモノデアリマシテ、是ハ一般中小業者ニ及ボスベキモノデハナイト思ヒマス、又一方ニ其論議中ニモ、不動産ノ抵當價格ガ五十億圓モ下ツテ居ルト云フ質問應答ガアッタノデアリマスガ、左様ナ結果カラ見、又現在低利資金ノ貸付ノ状態ヨリ調ベマシテ、現在ノ状態ニ於テ如何ニ低利資金ヲ出シマシテモ、ソレヲ利用シ得ル力ガ地方ニアリマセヌヤウニモ感ゼラレマスガ、斯様ナ現状ニ於テ此無盡業其モノヲ除イテ、他ニ中小業者ニ對スル金融ヲ充實セシムベキ、適當ナ方法ガアリマスカドウカ、又現在低利資金乃至信用組合等ニ於ケル地方金融ガ、是以上發展シ得ル餘地アルヤ否ヤ甚ダ漠然

○小川政府委員 只今ノ御質問ハ、此無盡業法ノ改正以外ニ於テ、中小工業者ノ金融ヲ好クシテ行ク方法ガアルカ、ドウ云フモノデアアルカト云フヤウナ御質問デアッタト思ヒマス、是ハ只今大藏大臣ノ演說ヲ引用致シマシテ、御話シタ中ニモアリマシタ通りニ、信用組合ヲ經由シテ預金部カラ資金ヲ融通スルト云フヤウナコト、是ハ茲ニ重ネテ申ス必要モナイ、既ニ御諒承下サツタコト、思ヒマス、其他昨年カラモ、モウ世間ニモ、既ニ能ク傳ハツテ居リマスガ公益質屋ヲ利用シテ行カウ、是モ大分歩ヲ進メラ來タヤウニ考ヘテ居リマス、中小工業ノ金融ニ資スルコト大ナスルモノガアルト思ッテ居リマス、ソレカラ日本興業銀行ガ、自己ノ資金ニ依リマシテ中小商工業ニ對ス貸付ヲ爲シツツアリマス、是モ中小工業金融ニハ甚ダ資シテ居ルト思ヒマス、ソレカラ只今一寸申シマシタ普通銀行ノ貸付デアリマス、是ハ普通銀行ガ自分デ進ンデモヤッテ居リマスシ、政府モ之ヲ希望シテ居ル譯デアリマス、是モ只今大藏大臣ノ演說ニモ現ハレテ居ッタコトデアリマス、更ニ將來ノ施設ト致シマシテハ、此貯蓄銀行法及無盡業法ヲ改正致シマシテ、庶民金融ノ圓滑ヲ期シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、其ドウ云フ所ガ庶民金融ノ圓滑ニナルカト云ヘバ、是ハ貯蓄銀行法ニ付テハ、既ニ議セラレタ所デアリマス、ソレカラ無盡業法ニ付テハ更ニ是カラ逐條デ御説明スル時ニ、詳シク申述べタイト思ッテ居ル譯デアリマス、尙ホ勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行法ノ改正案ガ當院ヲ通過致シマシタガ、其中ニモ十人連帶ニ付キマシテ、十年年賦デ無擔保貸金ヲ認メテ居リマスガ、是モ庶民金融ヲ滑ラカニスルト云フ目的ニ、適フコトニナルト思フノデアリマス、サウ云フ風デ、政府ハ色々ノ方面ニ涉リマシテ、其中中小工業ノ金融ヲ滑ラカニシテ見タイト努メテ居ル次第デアリマス

○横川委員 私ガ御質問申上ゲタ趣意ハ、出ス道ダケハ開通シテ居リマスガ、ソレヲ走ルベキ實際ノ交通機關ガアリヤ否ヤト云フ意味ヲ申上ゲタノデアツテ詰リ其實ガドノ程度ニ舉ッテ居ルカト云フコトヲ御質問申上ゲ、又實ノ舉リ得ル現状ニアリヤ否ヤト云フコトヲ、御伺ヒ致シタカッタノデアリマスガ、農村ノ低利資金ノ需要ノ狀況ヲ見マシテモ、從來ノ各内閣當局ニ於キマシテ、放資サレマシタ資源ヨリモ表示サレタ豫定額ハ多イカモ知レマセ

スガ、實際ニ於テ行ハレテ居リマス貸付額ハ、洵ニ僅少デアリマシテ、尙ホ將來モ恐ラク之ニ伴フ借入ハアルマイト思ヒマス、斯様ナ狀態カラ考ヘ、又現在信用組合等ガ殆ド豫定ノ貸付ニ困難ヲ致シマシテ、更ニ是以上ノ貸付ハ出來得ナイ狀態ヲ考ヘ、又地方銀行ナドニ於キマシテモ、擔保價格ノ非常ナ不足ヲ來スヤウナ狀態デ、是以上ノ貸付ガ出來得ナイヤウナ狀態ニ在ル、又失業其他ハ寧ロ失業者ヲ救済スル意味合ニ於キマシテ、多少ノ感ジハアルカモ知レマセヌガ、是亦中小產業者ヲ援助スル程度ノモノデアリマスマイシ、一々ノ金融銀行ニ付テ考ヘテ見マスナラバ、更ニ其金融ヲ圓滑ナラシムベキ實績ハ舉テ居ラナイヤウニ思フノデアリマスガ、實績ガ舉リツ、アリヤ乃至ハ舉リ得ベキカニ付テ、モウ一度御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○小川政府委員 貸付ケル資金ノ方カラ見テ、其目的ガ達セラレヤ否ヤ、現ニ貸付ガドレ程實現サレテ居ルカト云フヤウナ御趣旨ノ御質問デアッタト拜承シマシタ、信用組合ナリ公益質屋ノ方ハ、預金部ノ方デ資金ヲ融通シテ行クト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ其方ノ資金ハ少ナ過ギルト云フヤウナ訴ハナイ譯デアリマシテ、寧ロ事實貸付ガ十分行ハレヌデハナイカト云

フ方ニ、疑問ガアルデハナイカト思ヒマス、是ハ信用組合モ同收ノコトモ考ヘマスカラ、サウ簡單ニハ行カナイカモ知レマセヌ、ソレデ事實初メ二千萬圓、次ニ五百萬圓貸スト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、ソレマデノ程度ニ進ンデ居ナイト云フコトハ事實デアリマス、昨年ノ十二月二十日現在ニ於テ、借入ノ申込ガ千六百四十萬圓程アリマス、ソレデ今日デハモウ少シ進ンデ居ラウト思ヒマス、ソレカラ信用組合ヲ經由シテハ、餘リ借リラレナイト世間ノ人ガ言ヒマスケレドモ、事實相當ニ進ンデ居ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ公益質屋ノ方モ、昭和六年一月十五日現在ニ於テハ、公益質屋ノ總數ガ二百三十六箇所モアリマシテ、貸付ノ資金ハ五百二十萬圓ニモ上ッテ居リマス、ソレデ此資金ガ大變豐富ニナッテ來マシタカラ、公益質屋ノ方ハ相當ニ貸シテ行ケルト考ヘテ居リマス

○横川委員 御答辯中デスガ、私ノ申上ゲタ趣旨ヲ誤解ニナッテ居ルヤウデスカラ申上ゲマスガ、只今公益質屋ノコトニ付テ、大變御丁寧ノ御答辯ガアリマシタガ、私ハ公益質屋ト云フノハ所謂中小產業者ノ範圍ヨリモ、失業救済ノ意味合ノ目的、詰リ繼續的ニ充當セラルベキモノ、方ガ多イノデアッテ實際是ガ產業資金等ニ運用サレル範圍

ノモノニハ、餘リニ微力デアルヤウニ感ゼラレマスノデ、無盡業法等デ主トシテ取扱ヒマス千圓トカ、五千圓トカ、乃至ハ二百圓トカ云フ相當程度ノ資金ヲ目安ニ致シマシテノ運用ヲ考ヘマサル場合ニ於テハ、公益質屋ト云フモノハ寧ロ除外シテ御話願ッタ方ガ、實際吾ガ中小產業者ノ金融ヲ研究致シマス上ニ於テ好都合ダト思ヒマス、ソレ以外ノ、詰リ無盡業ノ實際持ッテ居リマス機能ト同様ナ機能ヲ持ッ、詰リ同様ナ利用者ニ依ッテ、利用サルベキヤウナ範圍ノ金融ニ付キマシテ、主トシテ御伺ヒシタイ考デアリマス、勿論私ハ斯ウ云フ特別ノ關係ノ法案デアリマスルガ故ニ、政治的意味トカ政黨的意味トカ云フモノハ全然考ヘテ居リマセヌノデ、唯實際ノ金融ノ實體ニ付キマシテ御説明ヲ伺ッテ、今後ノ參考ニシタイト思フノデアリマスルカラ、其意味デ一ツ御答辯ニ與リタイト思ヒマス

○小川政府委員 只今横川サンカラ、公益質屋ノコトニ付テ寧ロ答辯ハナクテモ宜イト云フ御話デアリマシタケレドモ、一寸話シ掛ケマシタカラ、徹底セヌ所ガアリマストイケマセヌノデ、一言附加ヘテ置キマス  
以前ノ公益質屋デアレバ御考ノ通りデアリマスガ、今度變ヘタノデアリマス、即チ政府ハ小商工業者等ノ金融緩

和ノ爲ニ公益質屋ヲ利用シテ見タイ、斯ウ考ヘマシテ公益質屋ノ貸付金額ニ關スル制限ヲ擴張シタノデアリマス、即チ貸付金額ハ公益質屋法ニ依リマシテハ特ニ地方長官ノ認可ヲ得タル場合ノ外ハ一口十圓、一世帯五十圓ヲ超エタルコトヲ得ナイト云フコトニナッテ居リタノデアリマス、デアリマスカラ公益質屋ヲ十分利用スルコトガ出來ナカッタノデアリマスガ、昭和五年七月ニナリマシテ一口五十圓、一世帯三百圓マデハ制限超過ヲ認可スルコト、シテ緩和シタノデアリマス、隨テ此小產業ノ金融ヲモ此公益質屋ニ依ッテ圖リ得ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、全然之ヲ除外シテ見ル譯ニハ行キマセヌカラ私ガ御話シテ居ッタヤウナ次第デアリマス

尙ホ前ノ勸業銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道殖銀行法中改正法律案デ只今申シマシタ十人連帶ニ依ル貸付ヲ擴張致シマシタト云フノハ、此法ノ貸付資金ト云フモノガ此法律改正ニ依ッテ豐富ニナルト云フコトハ、他ノ抵當證券何カハ關聯シテモ御承認下サルコトデアラウト思フノデス、後ハ手續ノ問題ニナリマスソレカラ貯蓄銀行法、無盡銀行法ノ改正ハ此法規ノ改正ニ依ッテ民間ノ御方デ相當ニ此仕事ヲ擴張シテ戴クコト

ニナラウト思ヒマス

○横川委員 私ハ只今ノ御答辯ニ於キ

マシテ、大體私ノ知ラザル範圍ノ事業ヲ御伺ヒ致シマシテ、満足デゴザイマシテ、私ガ最モ聽カント致シマシタ低利資金ノ實際ノ傾向、竝ニ信用組合乃至ハ地方銀行等ノ資金ノ運用ノ狀態等ニ付キマシテ、今後乃至現在十分ニ中小產業者ノ需要ニ應ズル程度ノ施設ガ行ハレテ居リマスルカドウカト云フ中心ノ質問ニ付テハ、ハッキリシタ御説明ヲ聽キ得ナカッタコトヲ遺憾ニ思フノデアリマスガ、是ハ暫ク措クト致シマシテ、大體本法案ガ中小產業者ノ金融ヲ圓滑ナラシメルト云フ中心ノ目的ニ依ッテ提案致サレ、又一方ニ此改正ノ結果ニ依リ、一般民間ノ援助ヲシテ政府ノ目的ニ副ハシメルガ如クスルコトガ、改正ノ要旨デアリマスル點ヲ、御承認下サレマシタノデアリマスガ故ニ、是カラ本法案ノ大體ノ點ニ付キマシテ御質問ヲ續ケタイト思ヒマス

ナイノデアルト云フ意味ノ質問應答ガ

アッタノデアリマス、此應答ヨリ致シマシテ、大藏大臣ガ申サレマスル冗漫ニ流レルトカ、冗長ニ流レルトカ云フ意味合ト、今後自覺ニ俟ッテ如何ニシテ農村負債等ノ整理ヲ爲スベキカ、其整理ノ方法乃至整理トシテ意味サルベキ言葉ハ、一體ドウ云フ事ヲ意味スルノデアリマスガ、之ヲ若シ御伺ヒ出來得ルナラバ、御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、自分等ハ如何ニ此大藏大臣ノ御答辯ヲ解釋致シマシテモ、如何ニシテ整理ト云フモノヲ考フベキカ、其具體ノ内容ニ付キマシテ之ヲ擴充スルコトガ出來ナイノデアリマスガ、若シ御教ヲ乞フコトガ出來マスレバ幸ヒダト存ジマス

○小川政府委員

一寸只今ノ御質問ハ私十分ニ吞込メマセヌガ、實ハ大藏大臣ト砂田君トノ間ニドウ云フ問答ガアリマシタカ、私之ヲ審ニ致シマセヌデ、ソレニ色々註釋ヲ加ヘマシタ所ガ、其處ノ所ヲ皆知ッテ居ナイト、註釋ニ依ッテ誤解ヲ生ジテモイカスト思フノデアリマス

○横川委員

實ハ左様ナ點マデ御質問申上ゲル積リモナカッタモノデアリマスカラ、交渉スベキ材料ヲ實ハ持ッテ参リマセヌノデスガ、其爲ニ時間ヲ手間取リマスカラ、別ナ形態デ御質問申上

ゲマスガ、要スルニ地方ノ狀態ト云フ

モノハ、租稅負擔カラ申シマシテモ、借金ノ利息拂カラ申シマシテモ、今後非常ナ窮境ニ陥ッテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、大正七八年デスラ既ニ商工地方ノ納稅割合ト、農村地方ノ納稅割合トハ、商工地ニ於テ收入百ニ對スル一割七分七厘ノ程度デアアルニ拘ラズ、農村地方ニ於キマシテハ三割四分何厘トカ云フ非常ナ高率ヲ納メテ居ルノデアリマシテ、現在ソレガ十數年後ニ於キマシテ、農村生産物ノ非常ナル低落ト、ソレカラ農村地方ノ税金ノ加重——恐ラク是ハ八割以上ニモ及ンデ居ルカト思フノデアリマスルガ、斯様ナ狀態ニアリマシテ、而モ此加重ナル負債ノ壓迫ヲ被ッテ居ッテ、其整理ト云フ意味合ハ何ヲ意味スルノデアアルカ、御説明ガ願ヘレバ結構ダト思ヒマス、何ヲ考ヘテ宜シイノデアアルカ、ドウ云フ意味合ノモノデアアルカ、農村負債ノ整理、詰リ金融ニ關スル問題デアリマスルガ故ニ、具體的ナ御説明ヲ願ヘレバ大變結構ダト思ヒマス

○小川政府委員

只今ノ御話ハ、農村債務ノ整理ト云フコトノ趣旨ニ付テバアッタト思ヒマスガ、ソレニ關聯シテ色々ノ御話ガアリマシタ、私サウ云フ御質問ヲ豫想シテ居リマセヌモノデシタカラ、材料ヲ持ッテ來テ居リマセヌ

デ、此處デ數字ヲ以テ御説明申上ゲル

コトガ出來マセヌノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、私等ノ考ヘテ居リマスノハ、農村ノ今日ノ窮狀ニ付キマシテハ、洵ニ同情ニ堪ヘナイモノガアリマス、ケレドモ世間ニ言ハレテ居ルヤウナ見方ハ、多少過ギテ居リハセヌカト思フノデアリマス、成程税金ガ相當ニアルケレドモ、是ガ八割モト云フコトハ、ドウ云フ處カラ出マシタカ、私等ノ計算ノ仕方ハ少シ違ッテ居リマスガ、サウ云フ數字ヲ爭フ所デモアリマセヌガ——借金モ相當ニアル、是ハ御尤デアリマス、唯農産物が安クナッタト云フコトハ、何人モ之ヲ肯定致シマスガ、同時に米ガ澤山ニ出來タト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、計算ノ仕方ニ於キマシテ、能ク農會ノ方デ發表セラレタ所ニ依リマス云フト、土地ノ資本利子ヲモ生産費ノ中ニ入レ、更ニ自家用ノ肥料モ生産費ノ中ニ入レ、自家勞力デモ土地ノ資本利子ト致シマシテモ相當ナモノニナルノデアリマスガ、其相當ナモノヲ生産費ト數ヘテ見テドウモ今日ノ米價デハ立ッテ行カスト、斯ウ云フノデアリマシテ、自作農ヲ地主ト考ヘ、又自分カラ勞力ヲ提供シテ居リマスカラシテ勞働者ト考ヘテ、地主ト勞働者ヲ兼ネテ、地主トシテノ收

入、勞働者トシテノ收入ト云フモノハ相當收メテ置イテ、ソシテ足りナイ計算ニナルト云フ風ノ計算ノ仕方ガ、世間一般ニ行ハレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、サウスルト地主トシテハ相當ニ收入ハアル、ソレカラ勞力ヲ提供スル者トシテハ相當ニ收入ハアルノダガ、農業經營者トシテ、所謂企業者トシテハ、割ガ合ハナイト云フ風ナ議論

子ノ債務ヲ安イ利子ノ債務ニ換ヘルト云フコトハ感ズル事デアリマスルガ、ソレガ行ハレマスルト、隨分農民ノ負擔ヲ輕クスルコトニナルト思フノデアリマス、問題ハソコニ集マツテ來ルノデナイカト考ヘマス、併シ大臣ガ砂田君ニドウ云フ事ヲ御答ニナツタカ、其註釋ヲスルノデハアリマセヌカラ、ドウカラスコハ左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

マズレバ、例ヘバ之ヲ時間的ニ債務ノ返濟ヲ延長スルコトニ依ツテ、其年次返濟額ヲ減ズルコトモ出來ルノデアリマスカラ、私ハ整理ノ方法ト致シマシテハ、利率ノ引下カ乃至ハ時間的期限ノ延長ニ依ツテ、負債ノ整理ヲスルコトガ僅ニ殘サレタ二ツノ方法デアルヤウニ感ズルノデアリマスガ、本法案ニ於キマシテハ、第何條デアリマシタカ、貸

來ニ於テアルヤ否ヤ、此點ニ付キマシテ御伺ヒシタイト思ヒマス

○大久保政府委員　只今横川サンノ御質問ノアリマスル現行法ノ第九條ノ、營業上ノ資金運用上ノ途ヲ開イタト仰セラレマシタ其一點ニ關シマシテ、御答申上ゲタイト思フノデアリマス、營業上ノ資金運用ノ途ヲ、或ル點マデ擴張タイト云フコトハ、是ハ長イ間實務

ノ仕方ガアルト思ヒマス、其議論ノ仕方ニハ、企業者トシテハ困ッテ居ルガ、地主トシテハ困ッテ居ナイ、勞働者トシテハ相當ニ收入ヲ得ラレルト云フコトニナルノデアリマスカラシテ——數字のニ私ハ此處ニ申上ゲ兼ねマスガ、サウ云フ見方ニ付キマシテ私ハ多少是正シテ見ナケレバナラス、觀察ノ仕方ヲモウ少シ直サナケレバナラス點ガアルノヂヤナイカト考ヘテ居リマス、併シ是ハ此處ノ問題デナイト思ヒマス、只今ノ御話ハ米ガ安クテ借金ノ利子ヲ拂ハナケレバナラス、元本ヲ拂ハナケレバナラスノデ農民ガ困ッテ居ルカラ、ソコデ農村問題トシテハ、債務ノ整理ト云フコトハ大キナ問題ニナル、是ハ全ク御同感デアル、然ラバ債務ノ整理ハドウ云フ事ヲヤルカト云フノガ只今ノ御質問デアリマスガ、高利債ノ借換ト云フコトガ債務ノ整理トシテ誰モ第一ニ考ヘテ來ナケレバナラス、高イ利

○横川委員 私ハ大體ノ質問ハ之ニテ終リト致ス積リデアリマスガ、只今私ガ申上ゲマシタ諸點ニ付キマシテ、世間一般ニ論ゼラレテ居ル點ニ於テハ、是ガ是正ヲ爲スベキ點ガオアリニナルト云フ御斷定デアリマスガ、其點ヲ何等カノ機會ニ、文書等デ御教示ヲ願フコトガ出來タナラバ、結構ダト思ヒマスガ、之ヲ一ツ是非御願ヒシタイト思ヒマス、如何ナル點ヲ是正スベキカ、現在論ゼラレテ居ル如何ナル點ニ付テ、是正スベキカ其點ヲハッキリ文書デ御教示ヲ願フコトガ出來マスレバ、今後ニ吾々ガ世ニ處スル上ニ於キマシテ、大變好都合ダト思ヒマスカラ、是非御願ヒシタイト思ヒマス

併ナガラ只今ノ御説明ニ依リマシテ、大體整理ノ内容ト云フモノガ、高利債ノ借換デアルトカ、乃至ハ時間的ニ——ソレマデハ申サレナカッタカ知レマセヌガ、無盡業ヲ中心トシテ考ヘ

付限度ノ擴張ハ之ヲ御認メニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ本法案ノ歸納的方面カラ、唯一ツノ改善デアルカノ如ク考ヘルノデアリマスガ——其途ダケハ今回開カレルコトニナツタノデアリマスガ、之ヲ現スベキ運用機關ナリガ、事實ニ於テ無イノデアリマス、利用スベキ方法ガ無イノデアリマス、其資金ヲ何レノ點カラカ、求ムベキ途ダケハ開カレテモ、資金ヲ求ムベキ方法ガ無イノデアリマス、若シ求メ得タニ致シマシテモ、ソレガ比較的高利ノ金デアリ得ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、之ヲ以テ合理的の意味合ニ於キマシテ、眞ニ中小産業者ノ金融ヲ圖ル意味ノ、比較的低利ノ金融ト云フコトハ圖リ得ナイヤウニ思フノデアリマ스가、此點ニ付キマシテ業法自體カラ生レル如何ナル資源アリヤ否ヤ、又其事業ヲ遂行スル上ニ於キマシテ、他ニ政府トシテ何カ積極的ナ援助ノ御考ガ將

ニ關係シテ居ル方面ノ御希望デゴザイ  
マスガ、無論無盡業ノ第九條ニ付キマ  
シテハ、營業上ノ資金ノ運用方ニ付キ  
マシテハ、幾多ノ弊害ガアルノヲ認メ  
マスガ、現行法ハ相當ノ制限の規定ニ  
ナッテ居ッタノデアリマス、營業者ノ資  
格ソレ等ノ方面カラ見マシテ、今日ノ  
時勢ニ應ズル爲ニ御希望ノ點ニ付キマ  
シテハ相當考慮ヲ致シタ次第デアリマ  
ス、只今仰セノ通り擴張致シマシタ次  
第デゴザイマス、只今ノ御質問ハソレ  
ハ結構デアラウト思フ、但シソレニ對  
スル金ハドウスル積リカト云フヤウナ  
御趣旨ハ諒解致シマシタガ、元來此無  
盡業者ガ營業上ノ餘裕金ヲ流用云々ト  
云フコトハ、無盡業ノ本體デハナイト  
私共ハ思フノデアリマス、是ハ既ニ横  
川サンノ幾多ノ御經驗、其他ノ關係カ  
ラ御承知デ、私ガ諄ク申上ゲルノハ却  
テ失禮ダト思ヒマスガ、無盡ナルモノ  
ガ一定ノ掛金ヲ致シテ、ソレヲ基トシ

テ所謂日本ニハ昔カラ行ハレテ居ル一ツノ庶民金融トシテ、特長ガアリマスカラ、此途ニ於テ活動スルト云フコトハ、ドウ致シマシテモ本則デナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、只今此營業上ノ資金ヲ運用シマスルノハ、偶々無盡業ノ本業ヲヤツテ行キマス關係カラ、出テ參リマス一ツノ之ニ伴ウテ生ジテ來ル事柄デアリマシテ、現行法第九條ノ活用云々ト云フコトガ、無盡ノ本體ニ關係スルモノトハ私共思ウテ居リマセヌ、便宜上之ヲシテ行カウト、斯ウ云フヤウナ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、此便宜ヲ出來ルダケ廣クシテ置キタイト云フ趣旨デゴザイマスノデ、此モノヲ活用スル餘リ無盡業ノ本業ト、ソレニ伴フテ生ジテ來ル事柄ト一緒ニ考ヘテ居ル次第デハゴザイマセヌノデ、出來ルダケ無盡業ハ本來ノ日本固有ノ一ツノ、是ハ庶民金融機關ノ形式ト致シマシテ、ウント働イテ貰ヒタイト云フ趣旨デゴザイマスカラ、此營業上ノ資金運用ノ方法ニ付キマシテハ、御希望ニ副ウテ大體ノ制限ヲ或ル點マデ緩和シタト、斯ウ云フヤウナ趣旨ニ外ナラナイノデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイ

○横川委員 其範圍ノ御説明ト致シマシテ、能ク拜承致シマシタ、但シ現在無盡ノ利用率ノ著シク増加致シマシタスガ、以上申上ゲマシタ諸種ノ理由ヨリ致シマシテ、更ニ政府ノ積極的ナ御考ヘ、民間ニ援助ヲ求メルト云フ趣旨カラ致シマシテモ、援助ヲ求メルニハ其途ヲ立テ、求メル意味合カラ申シマシテモ、更ニ一段ノ考ヲ要求シテ止マナイ次第デアリマスガ、之ニ付テノ御考ヘノ程ヲ、モウ一應御伺ヒシテ置キマス、是ハ小川次官カラ伺ヒマス

○小川政府委員 一寸横川サンノ只今御質問ヲ私ハハッキリ能ク吞込メマセヌノデアリマスガ、他ニ積極的ノ方法ガアルカト、斯ウ云フコトデアリマスガ、此改正ノ趣旨ハ、只今他ノ政府委員カラ御説明ニナリマシタ通りデアリマシテ無盡業ノ本體ト云フモノヲ、損ハヌヤウニシテ行クト云フコトハ、ドコマデモヤツテ行カナケレバナラヌコトデアリマス、デ或ハ此預金何カハ……

○横川委員 然ラバ更ニ此無盡業法ノ改正ニ一步ヲ加ヘマシテ、無盡業自體ニ、無論預金ヲ許シ得ル程度、乃至ハ加入者ノ預金ヲ許シ得ル程度ノ改正ヲ行フベキ、積極的ナ御意思ガアリ得ルカドウカ

○小川政府委員 前カラモ申シテ居リマスガ、政府ハ無盡業ト云フモノハ、日本ニ古クカラ發達シテ來タモノデアリマシテ、其本質ヲ失ハセヌヤウニシテ、發達サセタイト考ヘテ居リマス、無盡金融ノ特質ハ、諸君御承知ノ通りニ、一般加入者カラ集メマシタ掛金ヲ、他ノ加入者ニ融通スルト云フ點ニアルノデアリマシテ、ソレヲ超エマシテ、銀行ノヤウナ仕事ヲサシテ、銀行業ト競争サセルヤウナコトハ穩當デナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ只

今ノ御質問モ、以前ノ御質問モ預金部ノ資金ヲ融通シナイカトカ、今度預ケ金ヲ取扱ハセナイカト云フヤウナコトハ、皆此普通ノ銀行ノ仕事ヲスルヤウナコトニナリマシテ、ソコニ銀行ト無

條ニ互リマシタル際ニ、ソレニ關スル質問ヲ申上ゲタト思ヒマス

○松田委員 横川君トノ質問應答ニ付テ承ッテ居リマシテ、私モ一寸聽イテ置

タ、其當時大内兵衛君ニ承ッテ見マス

盡業ト云フモノヲ、混同スルヤウナ嫌ヒガアル、政府ハ無盡業ハ無盡業トシテ

規定シテ居リマシタル事項、改正法ノ第十條ニ規定シタル事項、此比較ニ於

テ、元々今ノ現行法ノ其前ハ、此掛込

タ、立法ノ精神カラ言フナラバ、ソ

カ、特別ノ預金ヲ取扱ハセルト云フコトニ付キマシテモ、今ノ所同意致シ

案ノ末尾ヲ見ルト、現狀ニ鑑ミテ此

無盡契約ヲ爲シタル契約ノ程度マデ貸

付ルト云フコトニシヨウト云フ事ヲ、

○横川委員 私ハ只今ノ御説明ニハ全

案ノ末尾ヲ見ルト、現狀ニ鑑ミテ此

無盡契約ヲ爲シタル契約ノ程度マデ貸

付ルト云フコトニシヨウト云フ事ヲ、

ト共ニ、庶民金融機關タルノ機能ヲ發

揮セシメタイ、斯ウ云フコトニナッテ居

ト大藏省ガ調査サレタ結果、現行法ノ

改正ヲスルト云フノデアルガ、是ハ元

シテ、此經濟非常時ニ於キマシテ、又

ル、成程今御答ニナリマシタル無盡ハ無

付ト云フコトニ改メラレタ、尤モ其中

ハ言ヘナイ、元々アッタモノヲ政府ガ之

政府ノ提案ノ趣旨カラ言ヒマシテ、無

盡トシテ發達セシメタイ、其他ノ機關

付ト云フコトニ改メラレタ、尤モ其中

ハ言ヘナイ、元々アッタモノヲ政府ガ之

盡業ガ著シイ發展ノ程度ニアリ、過去

ノ無盡業ト云フモノハ、現在ノ狀態ト

付ト云フコトニ改メラレタ、尤モ其中

ハ言ヘナイ、元々アッタモノヲ政府ガ之

非常ニ差違ガアル、又其利用ノ方面カ

出テ居ル、所デ此改正ノ趣旨カラ申シ

ニ持ッテ來テ制限ヲ加ヘタ、拂込資本金

ヲ誤ッテ改正シ、之ヲ急ニ今日元ニ復セ

ラ言ヒマシテモ、唯一トモ申サルベキ

金融機關トシテノ機能ヲ發揮セシメタ

當時ノ改正ハ誤ッテ居ル、立法ノ趣旨カ

ラト云ッテ、庶民金融機關ノ制度ヲ發達

政府ガ見解ヲ御採リニナッテ居ルト云

ト云フ、此改正ノ趣旨カラ言ヒマスル

當時ノ改正ハ誤ッテ居ル、立法ノ趣旨カ

ラト云ッテ、庶民金融機關ノ制度ヲ發達

フコトハ、吾々民間ノ方面ノモノト致

ト云フ、或ル商行爲或ハ無盡行爲、ソレ

業法ト云フモノハ大正四年ニ、多クノ

局長ノ御述べニナリマシタル事ハ、此法

シマシテ非常ニ不滿ニ思ヒ、承服シ難

カラ掛金者ニ對スル掛込限度ノ貸付ヲ

銀行業者ノ範圍ヲ侵スカラト云フノ

律ノ改正ノ精神カラ言ウテ誤リデナイ

イノデアリマスガ、要スルニ意見ノ相

違ト云フ點ニ於テ、又御意見ガアルノ

テ、銀行團カラ無盡法ト云フモノヲ作ッ

カ、斯ウ思フ今横川君トノ間ニ御話ガ

デアラウト思ヒマスカラ、此程度デ私

ハ大體的ノ質問ヲ打切りマシテ、又逐

業者ガヤカマシカッタ、斯ウ言ハレル

律デサヘモ、掛込者ニ對スル所ノ掛込

令度改正シテ、元々ニスルト云フコト  
ガ、之ヲ以テ直グ改正ナリトカ、業者  
ガ之ニ依ッテ營業ガ仕易クナル、斯ウ云  
フコトニ假ニ解釋致シマシテモ、或ハ  
商行爲トスルトカ、監督ヲ嚴重ニスル  
トカ云フコトハ、營業者ノ信用ヲ増進  
セシムルノダカラ、掛金者保護ノ方法  
デアルト云フコトニナルカモ知レマセ  
スケレドモ、此趣旨カラ申シマス、  
實ハ監督ヲ嚴重ニスル改正デアル、即  
チ業者ニハ之ニ向ッテ進メト云フコト  
ヲ掲ゲテ、進ムニ途ナキ所ノ改正法律  
案ニナリハシナイカト、想像セラレル  
ノデアリマス、何カは以外ニ當局トシ  
テハ、モウ少シ考ヘテ業者ガ貸出ヲ爲  
シ、或ハ掛金者ガ掛金ヲ爲スト云フノ  
ニ、便法ヲモウ少シ御考ヘ下サル途ハ  
ナイカドウカ、之ニ對シテ御答辯ヲ願  
ヒタイ

○大久保政府委員 只今松田サンノ御  
質問ハ、要スルニ現行法ヲ改正シテ、  
更ニ庶民金融ノ爲ニヤルナラバ、斯ウ  
云フヤウナ程度ヨリモ、モット有効ナ適  
切ナル改正ノ法案ハナイカト云フ御趣  
旨ニ承リマシタ、先程横川サンノ御質  
問ニ對シテモ御答致シマシタガ、此無  
盡ト云フモノハ、要スルニ日本ノ今日  
ノ庶民金融ヲ、非常ニ發達セシメタト  
云フコトカラ見マシテ、時勢ノ進運ニ  
伴ヒ、是ガ段々營業化シテ來テ、尙ホ

日本ノ國情ニ能ク合ヒ、民情ニ能ク適  
フ極メテ適切ナ庶民金融トシテ、之ヲ  
推廣シテ行キタイト云フ趣旨ナノデア  
リマス、成程今御話ノ僅カバカリノ改  
正デナク、他ニ良イ方法ハナイカト云  
フコトニ付キマシテハ、若シ他ニ適當  
ナ方法ガアルナラバ、吾々トシテモ考  
慮シナイト云フ趣旨デハアリマセス、  
併ナガラ今御質問ノ中ニモ既ニアリマ  
シタ如ク、無盡ト云フモノハ現在ニ於  
テモ餘程國家ニ貢獻シテ居ラレルト私  
共ハ見テ居リマス、要スルニ無盡ト云  
フモノハ先程政務次官カラ御説明ニナ  
リマシタ通り、過去十數年間ニ於テ異  
常ノ發達ヲシテ來テ居リマス、又先程  
横川サンカラモ御話ガアリマシタ通  
リ、此無盡業ノ發達ハ餘程良ク行ッテ居  
リマス、換言シマスと現在ニ於テハ非  
常ニ良ク金融ノ組織デアル、是ハ日本  
ノ民情ニ非常ニ適ッタ方法デ、此方法ヲ  
出來ルダケ尊重シテ、之ヲ維持發達サ  
シテ行キタイト云フ根本精神ハ、少シ  
モ變ラナイノデアリマス、ソレデ只今  
松田サンノ御話ノ如ク、色々ナ點ニ於  
テ間接ニ其業ノ信用ヲ高メ、出來ルダ  
ケ其業ノヤリ方ニ付テ、動モスルト世  
間ニ十分徹底シテ居ナイ憾ミモアルカ  
ラ、ソレ等ノ方面ニ付テハ出來ルダケ  
ノ信用ヲ博スルヤウニ進メテ行キタ  
イ、斯ウ云フ趣旨ハ從前カラ一貫シ

タル吾々ノ希望ナノデアリマス、サウ  
シテ行キマスニ付テモ、成ベク活動シ  
易クシテ行キタイト云フコトハ御同感  
デアリマス、ソレニ對シテ支障ガアル  
點ニ付テハ、他ニ特別ノ故障ノナイ限  
リニ於テハ、ソレヲ採入レタイト云フ  
コトモ亦同感デアルノデアリマス、併  
シ只先程預金ヤツテ行キ、其他銀行等  
ノ關係ニ於テ、低利資金ナドノ運用ノ  
方法等ニ付テノ御話ガゴザイマシタ  
ガ、ソレ等ノ點ニ付テハ吾々ノ方ニ於  
テハ、必ズシモ無盡業本體ノ働キノ方  
面ニ行ク爲ニ、直チニ此處デ擴張シナ  
ケレバ、無盡業ハ發達シテ行カナイト  
ハ考ヘテ居リマセス、他ニハ産業組合  
モ銀行モアリマシテ、各種ノ制度ガ茲  
ニアリマス譯デ、或ル意味カラ言ヘバ  
ソレノ皆自由ニヤラシタラ宜イデヤ  
ナイカト云フ議論モアリ得ルコトデア  
リマセウ、サウスレバ銀行トカ或ハ産  
業組合ト云フヤウナ方面ニモ、又ソレ  
ゾレノ希望ガアルカ知レマセス、併シ  
大體ニ於キマシテ今日吾々ノ考ヘテ居  
リマス金融ノ方面ハ、各ガ其特色ヲ  
發揮シテ行クヤウニシテ行キタイト云  
フコトガ本體ニナッテ居リマス、ソレニ  
對シテ尙ホ他ノ金融機關トノ均衡ヲ考  
ヘテ適當ノ範圍ニ於テソレノ働キ易  
クシテ行カウ、斯ウ云フヤウナ趣旨ニ  
ナル次第デアリマス

○松田委員 無盡業ハ無盡業法ニ基イ  
テ無盡トシテノ發達ヲセシメタイ、ソ  
レハ私モ理解シテ居リマス、然ラバ御  
尋シマスガ、無盡業ヲ其目的ニ向ッテ發  
達セシムルト云フノデアッタナラバ、大  
藏省ハ無盡業ヲ營ンデ居ル所ノモノニ  
對シテ、或ハ重役トカ、其他ノ資格ヲ  
御調ニナッテ、適當ナリトシテ認可ニ  
ナッタノデアアルカラ、ソレ等ノモノニ變  
更ヲ加ヘタ時ハ、相當ノ監督權ヲ發揮  
シ得ルコトガ出來ル、ソレカラ茲ニ拂  
込資本金ノ限度及諸準備積立金ノ限度  
ヲ越エテ貸付スルコトガ出來ナイト云  
フコトガアリマスガ、私カラ考ヘマス  
ト、無盡業ヲ發達サセル爲ニハ、今回  
ノ規定ハ不十分ナモノデアルト思ヒマ  
ス、是等ノモノヲモウ少シ擴張シタラ  
宜イデハナイカト思フ、今局長ノ御話  
ノ如ク他カラ金ヲ借りテ、ソレヲ無盡  
ヘ貸付ヲスルト云フコトハ、成程ソレ  
ハ無盡業ノ本質ニ適ハナイヤリ方カモ  
知レマセヌカ、無盡業ノ契約限度ノ貸  
付ハ無限デアアルベキデ、資本ノ拂込高  
及諸準備金ノ總額ヲ超ユルコトヲ得ズ  
ト云フ第十條ノ末尾ノ規定ヲ削除シタ  
ラドウカ、ソレ等範圍内ニ於テノ行爲  
ニ付テモ、大藏省ハ相當考ヘナケレバ  
ナラヌト思ヒマス、局長ガ今申サレル  
ヤウナコトデアアルナラバ、第十條ノ末  
尾ノ規定ハ果シテ要ルデアリマセウ

カ

ソレカラモウ一ツ御尋シテ置キタイ  
ノハ、無盡業者ハ二百六十トカアルサ  
ウデアリマスガ、其中デ缺損ヲシテ居  
ルモノヲ舉ゲテ見ルト、約九十ト云フ  
數ニ上ッテ居ルト云フ驚クベキ數デア  
ル、此九十ト云フモノハ損失續デアッテ  
無配當デアル、斯ウ云フ現狀デアリマ  
ス、先程モ小川政務次官カラ、或ハ一  
千萬圓ノ低利資金トカ、公益質屋トカ  
云フコトニ付テハ庶民金融ノ圓滑ヲ  
圖ッテ居ルト云フ御話モアリマシタガ、  
實ハ無盡業ト云フモノハ御承知ノ如ク  
銀行ガヨウ貸サナイ——大體カラ申シ  
マスレバ銀行ガヨウ貸サナイ、又銀行  
カラヨウ借りナイヤウナ者ノ間ニ介在  
シマシテ、無盡會社ガ貸付ヲシテ、庶  
民金融機關トシテ圓滑ヲ圖ッテ居ルト  
云フ事實ハ、疑フベカラザルコトデア  
リマス、即チ銀行カラヨウ借りナイ、  
ヨウ貸貸サナイ其間ニ介在致シマシ  
テ、無盡會社ハ金融ノ圓滑ヲ圖ッテ居  
ル、サウシテ幾ラカ社會ニ貢獻シテ居  
ルコトハ論ヲ俟タナイ、而モ其二百六  
十ノ會社ノ中九十ト云フモノハ、缺損  
或ハ無配當デアリマス、其處迄犠牲ヲ  
拂ッテヤッテ居ルニ拘ラズ、今度ノ改正  
法ハ大體ノ上カラ申シマシテモ、第一  
條ニ無盡法ノ大體ノ規定ガ規定サレ、  
其無盡法ノ第一條ニ無盡ト云フモノハ

斯ウ云フモノヲ以テ無盡ト謂フトアッ  
テ、賭博又ハ富籤ニ類似スルモノハ此  
ノ限リニ在ラズトアル、是ハヒドイデ  
ナイカ、無盡業ヲシテ發達セシメタイ、  
庶民金融トシテノ機能ヲ發揮セシメタ  
イト云フ御趣旨デアアルノニ、無盡業ト  
云フモノハ危險ナモノデアアル、動モス  
ルト賭博富籤類似ノコトヲヤルラシイ  
ト云フコトニナリマスレバ、社會ハ何  
ト無盡會社ヲ見マスカ、當局ハ無盡會  
社ノ監督ヲ嚴重ニシテ無盡會社ノ信用  
ヲ高メ、以テ社會ノ者ガ此庶民金融機  
關ヲ利用シ易イヤウニト云フ趣旨デア  
リマス、併シ一方ニ於テハ無盡ナルモ  
ノハ賭博富籤ニ類スルラシイト見ル規  
定ハ甚ダ矛盾シテ居ル、今日迄發達ヲ  
遂ゲ、庶民金融機關トシテノ人格ヲ具  
ヘテ來タ無盡會社ニ對シテ、賭博富籤  
ニ類スルモノト云フコトヲ第一條ニ設  
ケルト云フコトハ、無盡會社ニ對スル  
發達ヲ、例ヘバ私ノ著テ居ル洋服ハ汚  
イ松田、貴様ノ著テ居ル洋服ハ汚イカ  
ラ良イ洋服ヲ買ッテ來ヨ、但シ富籤ヤ賭  
博デ儲ケタ金デ洋服ヲ買フコトハナラ  
スト云フ者ガアッタ何ト云フ、當局ガ  
私ガ他人カラサウ言ハレタコトヲ——  
局長ハ側デ御聽キナスッタスレバ、ド  
ウ御考ヘニナリマスカ、松田ハ汚イ洋  
服ヲ著テ居ル、買フテ著ヨ、併シ富籤  
ヤ賭博デ買ッテハナラスト云フト、松田

ガ賭博ヤ富籤ヲシテ居ルヤウニ思ハレ  
ル、ソレト同ジデアリマス、斯ウ云フ  
規定ヲ改正スルト云フコトガ、庶民金  
融機關トシテ發達セシメタイト云フ趣  
旨デアアルカドウカ、之ヲ大體ノ上カラ  
伺ヒタイト思ヒマス  
○大久保政府委員 御質問ガ二ツデ  
アツタウニ拜承致シマス、第一ノ方ト  
シテ給付ノ限度ノ貸付ヲ無制限ニシタ  
點ハ宜シイ、給付金限度ノ貸付ヲ銀行  
法第九條第二項ニ於テ制限ヲシテ居  
ル、其制限ハ今日ノ既ニ無盡業ノ發達  
及ビ監督モ十分出來テ居ル狀態ニ於  
テ、斯ウ云フヤウナ規定ハ要ラスジヤ  
ナイカト云フ御趣意ニ拜承致シマシ  
タ、掛込金限度ノ貸付ニ付テハ沿革モ  
御説明ニナリマシタ通りデアリマス  
ガ、是ハ無制限ニ付テ適當ト思ッテ改  
正ヲ致シタ次第デアリマスカラ、給付  
金限度ノ貸付ニ付キマシテ、其制限ヲ  
依然トシテ必要トスルヤ否ヤト云フコ  
トハ、是ハ實ハ問題デアラウト考ヘル  
ノデアリマス、出來ルダケ斯ウ云フヤ  
ウナコトニ付テハ、實際ニ於テ差支ガ  
ナイナラバ、働キ易クシテ置クト云フ  
御趣旨ニ對シテ、私ハ異存ハナイノデ  
アリマス、當業者ノ方々ガ集マリマシ  
テ、色々御相談ニナリマシタ中ニ於テ  
モ、此點ニ觸レタ御希望ガアリマス、  
但シ斯ウ云フ規定ヲ全然削除シロト云

フヤウナ御趣旨デハナイノデアリマシ  
テ、當業者ノ方々モ斯ウ云フヤウナ範圍  
ハ、相當擴メルガ宜シイデヤナイカ、  
但シ急激ナル改正ハ却テ經營上支障ヲ  
來ス虞ガアルカラシテ、其範圍ヲ相當  
程度ニ止メル方ガ妥當デアラウト云フ  
御趣旨デアリマシタ、此當業者ノ極ク  
穩健ト言ヒマスカ、穩健ナル御希望ニ  
付テ、私モ敬意ヲ表シテ居ル次第デア  
リマス、ソレデハ如何ナル點ヲ以テ穩  
健トスルカト云フ程度問題ニナルダラ  
ウト思ヒマス、御趣旨ノアルトコロハ  
能ク了承シテ居ル積リデアリマス、直  
ニ此議會ニ提案致シマセヌデシタノ  
ハ、掛込金限度ノ貸付ハ、無制限ニ致  
シマス爲ニ實際上ニ於テハ餘程此點ガ  
緩和サレル見込デアリマス、實際問題  
ト致シマスレバ、此點ニ左程ニ御不便  
モナイヤウニ思ヒマス、漸ヲ追ッテ是等  
ノ點ニ付テハ御趣意ノアルトコロハ能  
ク了承シテ置キタイト思ッテ居ル次第  
デアリマス  
ソレカラ第二ニハ全體ニ付テ斯様ニ  
改正ヲスルナラバ、無盡業ノ現在ノ社  
會ニ貢獻シテ居ル點カラ見テモ、亦實  
際ニ於ケル大部分ノ改正ヲスル機會ニ  
於テ、第一條ノ末項ニアル「賭博又ハ  
富籤ニ類似スルモノハ此ノ限ニ在ラ  
ズ」ト云フヤウナ、極メテ好シカラザ  
ル文字ハ、避ケタラドウダラウカト云

フ御趣旨デアリマス、此點ニ付テ全然私ハ御趣旨ニハ同感ナノデアリマス、斯ウ云フヤウナ文字ハ、出來ルナラ無イコトヲ希望スル點ニ於テ、私共及バズナガラ人後ニ落チナイ積リデアリマス、御希望ノ點モ前ニ無盡集會所方面カラモ出テ居リマシテ、ドウカシテ斯ウ云フヤウナ矛盾ヲ避ケタイト云フ希望ヲ以テマシテ、色々法文ノ組立方ヲ考ヘテ見マシタガ、此法律立法當時ノ沿革其他色々ノ點ヲ考ヘテ見マシタゴザイマス、無盡ノ定義ト云フモノハ餘程苦心ノ上ニ出來マシタノデ、斯ウ云フヤウナ業態ニ於テハ中々是ハ法律上ノ案文トシテハ、難シイノデアリマス、當業者各方面ニ於テハ一ツ無盡法ト云フヤウナモノ、例ヘバ信託業法ナドノ制定ノ時モ問題ニナリマシタガ、一ツノ法律ノ外ニ根本的ノ信託法ト云フモノヲ設ケタラドウドラウカト云フ趣旨デ、信託法ト云フモノハ出來テ居リマス、現在ノ日本ノ法制竝ニ沿革カラ見マシテ、一寸新シイ一ツノ法制ヲ布キマス時ニハ、其手續ト云フモノハ中々難シイ問題デゴザイマス、此無盡ニ付テモ實ハ無盡業法トカ云フ風ノ關係ノ外ニ、無盡法ト云フ一ツノモノヲ拵ヘマシテ、法律關係ヲ羈束スル根本法、基準法ヲ考ヘルト云フコトノ希望

モアリマスルシ、純理論トシテハ極メテ宜イモノデアルヤウニ思ヒマス、併シ是ハ法律問題トシテ考ヘマスト、中難シイノデゴザイマシテ、無盡ト云フモノ、法律的構成要素ヲヤッテ行キマスニ付テハ、一通リノ仕事デナイヤウデゴザイマス、サウ云フ風ナ困難アル爲ニ、遂ニ茲ニ此無盡法ト云フヤウナ基本的法律ヲ、案出スルニ未ダ至ッテ居リマセヌ、唯實際ノ基準ヲ示ス爲ニ無盡業法ノ中ニ斯ウ云フヤウナ實體法デモ籠メタルト云フヤウナ實狀デアリマス、今度ノ改正案ニ付テモ、ソコマデ根本的ニ考ヘテハ居リマセヌ、斯ウ云フヤウナ關係カラ出發致シマスト云フト、現在ノ刑法上カラ見マシテ、刑法第百八十五條乃至百八十七條、ソレカラ又內務省令——明治四十二年八月ノ省令第二十號ト云フノゴザイマス、是等ノコトノ關係カラ、ドウモ無盡ノ定義ヲ置キマシテ、其定義ノ言葉上カラ、ドウモ係リ合ヒガ出テ來マシテ、却テ無盡業者ガサウ云フ風ナ法律ノ關係カラシテ、不如意ニナルト云フ風ナ解釋ガ、起リ得ル危險ガアリマスデス、是ハ純然タル法律解釋上、立法上ノ問題ニナル譯デアリマスガ、成ベク御趣旨ニ副ヒタイ、斯ウ云フ風ナ點ニ於テハ避ケタイ、斯ウ思ヒマシテ關係ノ方面トモ熟議ヲ重ネテ見マシタ

所、ドウモ此法律ノ用語ト致シマシテ、斯ウ云フ風ナモノヲ置イテ、却テ保護スルト云フコトガ、無盡ト云フモノ、業者ニ對シテ必要デアル、場合ニ依ッテハ無盡ト云フモノ、定義ノ解釋ノ結果、斯ウ云フ風ナモノニ非常ナ係リ合ヒニナッテ來ルト云フ風ナ結論ニナルデアリマス、立法ノ初カラサウ云フ風ナ趣旨デ、此點ニ非常ナ難儀ナ問題ニナッテ居リマス、甚ダ遺憾ナガラ此點ニ於テハ、ドウカ法律ノ解釋上之ヲ置イテ、却テ無盡業ノ範圍ヲ明カニシテ置クト云フコトデナイト、無盡業其モノ、構成ノ上ニ、無論困難ガ多カラウト云フヤウナ趣旨デ、斯ウ云フ風ナコトニナリマシタ次第デアリマス、左様御承知願ヒマス

○松田委員 時間ガ斯ウ云フ風ニナッテ居リマスガ、總括的ノ質問トシテハマダ殘ッテ居リマスガ、ドンナモノデゴザイマスガ、マダ進ンデ宜シウゴザイマスレバ進ンデヤリマスガ

○荒川委員長 又御質問ノ機會モアリマセウ

○松田委員 私人總括的ノ質問ト致シマシテハ、モウ一二項ダケ殘ッテ居リマスガ、時間ガ十二時ニナッテ居リマスカラ……

○荒川委員長 モウ少シ進行シマセウ

○松田委員 今局長ノ御答ニナッテ點

ハ、少シ苦シイ御答辯デハナカラウカ、趣旨ニハ賛成デアリマスガ、法律ノ關係ノ上カラ言ウテ、斯ウシテ置ク方ガ無盡ガ却テ人格ヲ備ヘル、ソレハ宜イデヤナイカト云フコトハ、少シ苦シイ御答辯デナカラウカト思ヒマス、若シ賭博無盡ニ類似スルヤウナ行爲ガアレバ刑法モアレバ、內務省令モアッテ、之ヲ拘束スベキ規定ガ他ニ設ケラレテ居ル以上ハ、更ニ之ヲ設ケル必要ハ私ハ全然ナイト思ヒマス、然ラバナゼ無盡ニ付テ——サウ云フ風ニ競馬法トカ其他ノモノデモ、斯ウ云フ風ナ虞アリマスガ、ソレ等ノモノハナゼ設ケナイカ、凡ソ社會上カラ見マシテモ、競馬法ニ依ッテヤッテ居ルアノ行爲ト、無盡ノ行爲ト、比較對照致シマスレバ、競馬法ニハ用ヒズシテ、無盡業者ニ對シテハ斯ウ云フ文字ヲ使フト云フコトハ、少シ穩カデナイト思ヒマス、是ハ十人寄レバ十人共ニ、サウ思フノデアリマス、此前ノ御説明ニ依リマシテモソレハ申譯ガアッタノデアリマスガ、大藏省側デハ稅ヲ取リタイ趣旨デゴザイマセウガ、內務省ノ方デハイカスト云フノカモ知レマセヌカ、其點ニ付テハ大藏省ヲ願ヒタイト云フ意見デアリマス、此意見ダケ申上ゲテ置キマス其次ニ局長ハ無盡業法ヲ作ッタト申

シテ居リマスガ、是ハ左様ナ御趣旨デナイヤウニ伺ッタノデアリマスガ、此無盡法ト云フモノヲ假ニ作ラレルナラバ、此業法ノ中デ更ニ又之ヲ削除スルトカ、改正ヲ加ヘナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマスガ、サウ云フヤウナトキニハ、更ニ規定ヲモウ一ツ變ヘナケレバナラヌ、サウシマス無盡業法ノ改正ヲ今スル場合ニ於テ——無盡法ヲ作ルト云フコトヲ豫想シテ、此法律ヲナゼ作ッテ置カナカッタカ、政府ガ果シテ無盡法ト云フモノヲ作ル精神ガアルナラバ、ナゼ此アトデ作ルト云フコトヲ豫想シテ、此改正法律ヲ作ッテ居ラレナカッタカト云フコトガ言ヘル、民間ノ側カラ言ウタナラバ、果シテ無盡法ト云フモノヲ作ル誠意ガ、政府ニアルカドウカト云フコトニ付テ疑ハシイ點ガアリマスカラ、此點ヲ承ッテ見タイ、又改正法律ニ付テノ——無盡業法ヲ改正セントスルニ付テハ、業者ノ叫ブ聲ニ對シテ警視廳ノ活動等ニ付キマシテモ承リタイ點モアリマスケレドモ、是亦逐條デアルカラ、後ニ又御質問致シマスガ今ノ二點ダケ御尋シテ置キマス

**○大久保政府委員** 第一ノ方ハ御意見ノヤウニ承ッタノデ、答辯スル必要ガアリマセヌガ、念ノ爲ニ私補充シテ置キタイト思ヒマスガ、競馬法其他ニ付テノ御趣旨モ能ク諒解致シマス、唯無盡

業法第一條、現行法モ改正案モ同ジデアリマスガ、此類似無盡ト云フ字ガアリマス、是ガ非常ニ言葉ガ困リマス問題デアリマス、類似無盡ヲ擴ゲル、是ハ一方カラ言ヒマス云フト、無盡業者ヲ出來ルダケ——一面カラ見マスト云フ趣旨カラ出來テ居リマシテ、苟モサウ云フヤウナ類似見タヤウナモノウナコトデ、之ヲ廣ク致シマシテ、無盡業者ノ行フ行爲ヲ、免許事業ト云フモノニ厚ク保護スルト云フヤウナ趣旨デ出來テ居リマス、類似ト云フ言葉ガ色々解釋スル餘地ガアルノデアリマシテ、先程御話ノヤウナ法律ノ關係カラ見マシテ、サウ云フヤウナ類似ト云フ言葉ガアル場合ニハ、相當ニ用心シテ置カナケレバナリマセヌ、解釋上ドウモ賭博其他ノ但書ガナイト云フト、却テ危險ガアリマス、是ハ法律ノ解釋上洵ニ已ムヲ得マセヌノデ、左様御承知ヲ願ヒタイ

其次ノ御尋ハ、無盡法ヲ制定スルト云フ趣旨デアラナラバ、其前提ノ下ニ何カ法律改正ノコトヲ考ヘテ居ルカト云フ、御趣旨ノヤウニ承リマシタガ、是ハ實ハ考ヘテ見マシタ、懸案デゴザイマス、長イ間ノ問題デゴザイマス、

大藏省トシテ考ヘテ居リマスケレドモ、理論的ト云フノハ、極メテ必要デアルト思ヒマスガ、實際上カラ之ヲ見マシテ、今日無盡法ト云フモノヲ、非常ニムツカシイモノヲ拵ヘルト云フ實益ハ、ドノ點ニアルカト云フコトニ付テハ、十分ナ認識ヲ吾々ハ持ッテ居リマセヌ、理論上御尤ナ御希望デアルト思ヒマスケレドモ、實際ニ於キマシテ、之ヲ其處マデ分ケテ、無盡ニ對スル非常ナル徹底的ノ基本法ヲ拵ヘルト云フコトハ、寧ロ實行上カラ其處マデ今考ヘヌデモ宜イデハナイカト云フコトデ、サウ云フ立法ノ範圍ト相俟ッテ其處マデ考ヘテ居リマセヌ次第デアリマス、無論是カラ先モ調査研究ヲ致ス積リデアリマスガ、今日ノ改正法ニ付キマシテ、ソレヲ前提トスル所マデ考ヘテ居リマセヌ、サウ云フ趣旨ニ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

**○松田委員** 今ノ所デハソレデ宜シイケレドモ、其處ガ大體業者ト政府トノ間ニ懸隔ノアル所デアル、一體此法律ガ元々出來タトキニハ、先程申上ゲタ通り、無盡ガ世ニ多ク出來テ來テ、金融界ヲ却テ紊亂スル、銀行業者ヲ害スルコトニナッテハイケナイト云フノデ、大正四年ニ此法律ヲ作ッテ整理スル、是ハ壓迫ヲ加ヘル——ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、無盡業者ハ一旦

許サセヌヤウニシテ、新ニ政府ニ願出テ來イ、願出テ來タモノハ吟味シテ、許スナラバ許シテヤルト云フ法律デアアル、一種ノ取締法デアル、所謂罰則デ監督ノ爲ニ出來タ法律ヲ以テ、無盡業者自體ガ無盡法ノ目的ニ向ッテ今マデ貢獻シテ來タ、其時代ニ於テ無盡業法以外ニ法律ガナケレバナラヌト云フ議論ノ起ルノハ、當然ナコトデアアル、今ソレヲ拵ヘル餘裕ガナイ、マダ其處マデ議論ガ到著シテ居ラヌ、サウ云フ考ナラソレデモ宜シイガ、其處デ簡單ニ承ッテ置キタイ、將來無盡法ヲ作ル意思ガ政府ニ於テアルカナイカ、之ヲ承リタイ

**○大久保政府委員** 只今ノ將來拵ヘル意思ガアルカ、ドウカト云フ御趣意ニ對シマシテハ、私共ノ方デ現在マデノ立場カラ致シマシテ、其必要ノ上カラ見マス、必シモ無盡法ト云フ基本法ハナクテモ宜イダラウ、左程痛切ナル問題デナイヤウニ思ヒマス、今日ノ法規デ以テ相當ヤッテ行ケルト思ヒマスノデ、今直チニ基本法ヲ拵ヘルト云フ所マデ考ヘテ居リマセヌ、左様御承知願ヒマス

**○松田委員** 是ハ逐條審議ノトキニ質問ヲ致シマスルノニ都合ガ好イカラ承ッテ置クノデアリマス、大體本改正ノ

趣旨ニ付キマシテハ今承リマシタガ、逐條ニ入リマシテ又質問致スコトニシテ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○荒川委員長 第一條カラ第十條マデハ、總則的ノ規定ニナツテ居リマス、之ヲ御説明願ヒマス

○大久保政府委員 甚ダ勝手デゴザイイマスケレドモ、大體新舊對照ノ爲ニ御手許ニ條文ヲ差上ゲテゴザイマス、ソレニ依ッテ特ニ附加ヘマシタ點ダケヲ、御説明申上ゲル方ガ早イカト思ヒマスカラ、對照シテ一ツ御覽願ヒタイト思ヒマス、第一條ハ同ジニナツテ居リマス、第二節ハ無盡ハ營業トシテ之ヲ

許スト、之ヲ商行爲トスル、御承知ノ通り銀行ト保險トカ云フモノハ、商法ニ規定ガアリマス、信託業ハ信託業法ノ中ニ商行爲トスル規定ガゴザイマス、無盡ノ方モ今日之ヲ一ツノ商行爲トスル、是等ノモノト相併シテ行クト云フコトニナルノガ、適切デアルト云フ趣旨デ、是ハ出來テ居リマス、其商行爲ト致シマス結果、其效果ノ上ニ於テ

良イ點ヲ二三申上ゲテ見マスレバ、商行爲ニシマス結果、實益トシマシテ、從來消滅時効ノ期間ガ十年デアッタモノニ對シテ、商行爲ニナレバ五年ニナリマス、法定利率モ民法デ行ケバ五分ノモノガ、商法ニ行キマスト六分ニナリマス、利息制限法ハ第五條ノ適用ヲ

受ケナイヤウナ關係ニナリマシテ、是等ノ點ハ銀行信託ト云フモノト同ジニナリマス關係カラ、之ヲ入レタ方ガ宜カラウト云フ趣旨ニナツテ居リマス、第三條ハ同ジコトニナツテ居リマスカラ

略シマス、第四條ハ書方ガ少シ違ッテ居リマシテ、前ノ三條ト比ベテ見マス、資本金三萬圓以上、拂込金額一萬五千圓以上ト云フ點ハ同ジデアリマス、株式會社ト云フコトヲ茲ニ入レマシタ、今後無盡業ハ株式會社デナラナケレバナラスト云フ風ナコトニナリマシタ譯デアリマス、此實益ト致シマス點ハ、今日ノ經濟ノ發達ニ伴ヒマシテ、斯ル

事業ハ銀行ノミナラズ、信託會社、貯蓄銀行色々ナモノガ皆此會社組織ト云フ風ナ、株式會社ニ變遷致シテ居リマス、營業發展ノ上カラ見マシテモ、外部ニ對シマスル計算ヲ明カニ致シマス點カラ見テモ、株式組織其他ニ關聯シテ居ル點カラ見マシテモ、ヤハリ株式會社トシタガ一番宜カラウト云フ趣旨

デ、是ハ出來テ居リマス、之ニ對スル經過の規定ハ後ニ出テ居リマス、第五條ハ同ジ、第六條モ同ジ、第七條モ同ジ、第八條ハ大體似タヤウナ趣旨ガ前ノ法律ニモアリマシタガ、今度ハ銀行法ト新シイ立法例ニ依リマシテ、斯ウ云フ風ナ簡條ヲ加ヘマシタノデ、趣旨ニ於テ何等變ッテ居リマセヌ、第九條ハ

是亦銀行ヲ參照シマシテ拵ヘマシタノデ、大シタ變更ハゴザイマセヌ、第十條ハ先程カラ度々問題ニナリマシタヤウニ、營業上ノ資金運用ノ範圍ヲ廣メマシタ、是ハ既ニ十分ニ申上ゲタ積リデアリマスカラ、略シテ置キマス

○松田委員 第四條デ伺ヒマスガ、無盡業ハ資本金三萬圓以上拂込金額一萬五千圓以上ト云フコトデアレバ、株式會社ガ出來ルノデアリマス、今無盡業ノ認可申請ノ場合ニ於テ、大體ニ於テ大藏省ノ方針ハ、資本金十萬圓以上デナケレバ許サナイ方針ヲ執ッテ居ル、近頃サウ云フヤウナ方針ニナツテ居リマ

スガ、其以下ノモノガアレバ承リタイト思ヒマス、大體大藏省ノ方針ハ、十萬圓ノ株式會社ニアラザレバ、許可シナイト云フ方針デアルカ、其方針ナラバナゼソレヲ規定シナイカ、實際ハサウ云フ風ニ取扱ヒナガラ、斯様ナ規定ヲ茲ニ存セシメナケレバナラスト云フコトハ、實際ト符合シナイヤウニ思ヒマスガ、之ニ付テ伺ヒタイ

○大久保政府委員 此資本金ヲ上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、金融ノ上カラ見マシテ、擔保力ヲ増加スル譯デアリマスカラ、私共ハ趣旨ニ於キマシテハ別ニ異存ハナイノデゴザイマス、同業者ノ方カラモ、資本金ヲ十萬圓位ニシテ貰ヒタイト云フヤウナ、御希望

ガ出テ居ッタヤウデアリマス、唯之ヲ法律ノ上ニ置クカドウカト云フコトニ付キマシテハ、實ハ既ニ存在シテ居ル會社トノ關係ガアリマスノデ、又一面カラ見マス、既ニ存在シテ居ルモノニ付キマシテハ、相當ニ其資本金デ以テ

働イテ居ラレマス、今日直チニ擔保力ヲ増サナケレバ業態ガ非常ニ困ルト云フ風ナ趣旨デハナイヤウニ思ヒマスノデ、其所マデ進ミマセヌ次第デアリマシタ、但シ只今松田サンノ仰セノ認可シマス方針ニ付キマシテハ、相當ニ行渡ッテ居ルコトデ、一定ノ時期後ニ斯ウ云フ風ナ内規デ以テ、大體無盡業者關

係ノ方ノ御希望ニ副フヤウナ趣旨ニ取扱ッテ居リマスガ、是ハ今後新シイモノニ對シマシテハヤハリ、サウ云フ風ナ趣旨デ進ンデ行ッタ方ガ宜カラウト考ヘテ居リマス、併シ既設ノモノニ付テ斯ウ云フ風ナモノヲ直チニ引上ゲマシテ其條件ヲ具備サセルト云フ所マデ必要ハナカラウト云フ風ナコトデ、改正

ハ致シマセヌ次第デアリマシタ  
○松田委員 ソレガオカシイノデ、十條ノ規定ニ依ッテ先程申上ゲマシタ拂込資本金並標準積立金ノ限度ヲ超エテ貸付ガ出來ナイヤウナ規定ガアル、今日マデ資本金三萬圓拂込一萬五千圓ノ會社ガ如何ニ成績ヲ擧ゲヤウトシテモ、關西ニ於ケル所ノ無盡ハ一萬二千

圓シカ貸スコトガ出來ナイ、ソシナコトデ社會ニ向ッテ、ドレ位ノ貢獻ヲ爲スコトガ出來ルカ、明カナ問題デア、御言葉ハソレデ宜シイダラウガ、事實ニ是ガ符合スルカドウカ、其點ガドウモハッカリシナイト思フ、今マデノモノニ對スル關係モアルト斯ウ云フ御話、今マデノモノニ對シテハ既得權ヲ用ヒテモ宜シイシ、現在サウ云フ風ニシテ居レバ今後デモ資本金ヲ大キクシテ行クヤウナコトハ、所謂擔保ノ力ヲ強クセシメル意味ニナッテ、無盡ノ發達ヲ助ケルコトニナリハセスカ、今日マデ一萬五千圓ノ拂込ノモノデ相當成績ヲ擧ゲテ居ルト言ハレマスガ、十條ノ末尾ノ規定カラ言フト一萬五千圓ヲ一人ニ貸シテモ知レタモノデア、ソレデ以テ社會ニ貢獻スルコトガ出來ルカ、ソシナコトハ實際ノ事情ニ符合シナイ問題デハナカラウカト私ハ思フ、其十條ト三十條トヲ比較對照シテ、兩々相俟ッテ兩方トモ改正ガ必要カノ如クニ私ハ信ズル、其點ヲ記錄ノ上デモウ少シハッ

キリ致シテ置キタイト思フ

○大久保政府委員 御質問ノ趣旨ガ之ヲ法定シテ置イタガ宜カラウト云フ御意見ノヤウニ見エマスガ、資本金ヲ法定スルト云フコトモ一ツノ方法デアリマスガ、十萬圓ニ達シテ居ナイ會社モ可ナリ數ガゴザイマス、ソレ以下ノモノヲ通算致シマスト彼此レ百近クアルヤウニ思ヒマス、二百六十ノ中デ以テ相當ノモノガ資本金ヲ法定シヨウトスレバ可ナリノ數ニナル譯デスカ、實際上ノ問題トシテハ、御話ノ通り今後新シク許スモノニ付テハ、御趣旨ニ副フヤウナ取扱ヲシテ行キタイト思ッテ居リマス、法定スルコトハソレ等ノ關係ヲ見テ致ス積リデアリマス

○横川委員 一寸私外出シマシテ聽漏シタ點ガアルカモ知レマセスガ、局長ノ御説明中ニ、無盡業本來ノ使命ヲ發達サセルコトガ主眼デアルト云フ意味ノ御話ガアッタヤウデゴザイマスガ、第十條ニ於キマス掛金者ニ對シ既ニ拂込ミタル金額ヲ超過シ、契約給付金額ヲ限度トスル貸付、及ビ第三號ニ於ケル貸付、之ヲ玆ニ許シマシタ其趣旨ハ、無盡業本來ノ目的機能ト云フモノトド云フ關係ガアルモノデアリマスガ、一寸御伺シタイ

○大久保政府委員 此第十條ハ營業上ノ資金ヲ運用スル方法ヲ書イテゴザイマス、無盡業本來ノ一定ノ掛金ヲシマシテ、給付ヲ抽籤入札ニ依ッテヤッテ行クト云フ風ナ趣旨ト、第十條トハ別段關係ハ直接ニハナイ、第一條ノ營業ヲヤッテ行ク關係上、自然其所ニ營業上ノ餘裕金ガ出テ來マスカ、其餘裕金ハ出來ルダケ會社ノ働キノ爲ニ役立ツヤウニ、又時勢ノ進運ニ適フヤウニト云フ方法ハ考ヘテ居リマス、併ナガラ同時ニ營業上ノ資金運用ノ結果、他ノ機關トノ關係モ考慮シナケレバナヌコトハ前申上ゲタ通りデアルカラ、此程度ノ擴張ハ雙方カラ見テ差支ガナイモノデアラウト云フ趣旨デ擴ゲタ次第デゴザイマス

○大久保政府委員 御質問ノ趣旨ガ之ヲ法定シテ置イタガ宜カラウト云フ御意見ノヤウニ見エマスガ、資本金ヲ法定スルト云フコトモ一ツノ方法デアリマスガ、十萬圓ニ達シテ居ナイ會社モ可ナリ數ガゴザイマス、ソレ以下ノモノヲ通算致シマスト彼此レ百近クアルヤウニ思ヒマス、二百六十ノ中デ以テ相當ノモノガ資本金ヲ法定シヨウトスレバ可ナリノ數ニナル譯デスカ、實際上ノ問題トシテハ、御話ノ通り今後新シク許スモノニ付テハ、御趣旨ニ副フヤウナ取扱ヲシテ行キタイト思ッテ居リマス、法定スルコトハソレ等ノ關係ヲ見テ致ス積リデアリマス

○横川委員 一寸私外出シマシテ聽漏シタ點ガアルカモ知レマセスガ、局長ノ御説明中ニ、無盡業本來ノ使命ヲ發達サセルコトガ主眼デアルト云フ意味ノ御話ガアッタヤウデゴザイマスガ、第十條ニ於キマス掛金者ニ對シ既ニ拂込ミタル金額ヲ超過シ、契約給付金額ヲ限度トスル貸付、及ビ第三號ニ於ケル貸付、之ヲ玆ニ許シマシタ其趣旨ハ、無盡業本來ノ目的機能ト云フモノトド云フ關係ガアルモノデアリマスガ、一寸御伺シタイ

○大久保政府委員 此第十條ハ營業上ノ資金ヲ運用スル方法ヲ書イテゴザイマス、無盡業本來ノ一定ノ掛金ヲシマシテ、給付ヲ抽籤入札ニ依ッテヤッテ行クト云フ風ナ趣旨ト、第十條トハ別段關係ハ直接ニハナイ、第一條ノ營業ヲヤッテ行ク關係上、自然其所ニ營業上ノ餘裕金ガ出テ來マスカ、其餘裕金ハ出來ルダケ會社ノ働キノ爲ニ役立ツヤウニ、又時勢ノ進運ニ適フヤウニト云フ方法ハ考ヘテ居リマス、併ナガラ同時ニ營業上ノ資金運用ノ結果、他ノ機關トノ關係モ考慮シナケレバナヌコトハ前申上ゲタ通りデアルカラ、此程度ノ擴張ハ雙方カラ見テ差支ガナイモノデアラウト云フ趣旨デ擴ゲタ次第デゴザイマス

○横川委員 限度ヲ擴張致シマシタコトニ對シテハ、質問者ハ最モ適當ナ御改正デアルヤウニ思フノデアリマスガ、此限度内、乃至ハ此限度ヲ超過シタ意味デノ貸付ヲ受ケ得ルト云フコトガ加入者ノ權利デアアルノデアリマシテ、其權利ヲ豫想スル意味デ加入者ガ無盡契約ヲ爲ス場合ガ非常ニ多イト思フノデアリマスガ、實際上ニ於キマシテ、此法案カラ申シマシタナラバ、之ニ應ズベキ貸付ト云フモノハ實需ニ應ズベキ程度ノ資金ガ會社自體ニナイカラ應ズルコトガ出來ナイ、或ル程度ハ應ズルコトガ出來マセウガ、加入者ノ本來ノ加入シタ際ノ理解ニ基ク程度ノ融通ト云フモノハ、全然出來得ナイコトニナルノデアリマスガ、サウ致シマスルト、或ル程度マデ何ガシカ旨イ所ヲ釣下ゲテ、此所デ加入ヲ求メナガラ、加入者ガ必要ニ應ジテ資金ノ融通ヲ得ヤウト思フ際ニ、ソレヲ得ラレナイヤウナ實際上不便ナ結果ニナルト思フガ、

○大久保政府委員 御質問ノ趣旨ガ之ヲ法定シテ置イタガ宜カラウト云フ御意見ノヤウニ見エマスガ、資本金ヲ法定スルト云フコトモ一ツノ方法デアリマスガ、十萬圓ニ達シテ居ナイ會社モ可ナリ數ガゴザイマス、ソレ以下ノモノヲ通算致シマスト彼此レ百近クアルヤウニ思ヒマス、二百六十ノ中デ以テ相當ノモノガ資本金ヲ法定シヨウトスレバ可ナリノ數ニナル譯デスカ、實際上ノ問題トシテハ、御話ノ通り今後新シク許スモノニ付テハ、御趣旨ニ副フヤウナ取扱ヲシテ行キタイト思ッテ居リマス、法定スルコトハソレ等ノ關係ヲ見テ致ス積リデアリマス

○横川委員 限度ヲ擴張致シマシタコトニ對シテハ、質問者ハ最モ適當ナ御改正デアルヤウニ思フノデアリマスガ、此限度内、乃至ハ此限度ヲ超過シタ意味デノ貸付ヲ受ケ得ルト云フコトガ加入者ノ權利デアアルノデアリマシテ、其權利ヲ豫想スル意味デ加入者ガ無盡契約ヲ爲ス場合ガ非常ニ多イト思フノデアリマスガ、實際上ニ於キマシテ、此法案カラ申シマシタナラバ、之ニ應ズベキ貸付ト云フモノハ實需ニ應ズベキ程度ノ資金ガ會社自體ニナイカラ應ズルコトガ出來ナイ、或ル程度ハ應ズルコトガ出來マセウガ、加入者ノ本來ノ加入シタ際ノ理解ニ基ク程度ノ融通ト云フモノハ、全然出來得ナイコトニナルノデアリマスガ、サウ致シマスルト、或ル程度マデ何ガシカ旨イ所ヲ釣下ゲテ、此所デ加入ヲ求メナガラ、加入者ガ必要ニ應ジテ資金ノ融通ヲ得ヤウト思フ際ニ、ソレヲ得ラレナイヤウナ實際上不便ナ結果ニナルト思フガ、

○大久保政府委員 是ハ各會社ノ一々ノ場合ニ付テ御説ノヤウナ工合ニ色々出テ來ルコトカト思フ、無盡ハ御承知ノ通り營業上ノ資金ニナルモノハ東京式大阪式等ニ於テモ大分隔リガアリマス、方法如何ニ依ッテハ此條項ノ營業上ノ資金ハ可ナリ出テ來ル場合モアルデアラウト思ヒマス、ソレノ場合ニ依リマシテ應ズルダケノコトハ應ジサシテ行キタイ、其他ノ方法ニ付キマシテハ先程申シマシタヤウナ次第デアリマス

○横川委員 サウシマス、本改正案ハ大阪式ノ營業ヲ獎勵スル意味ノ趣旨カラ進ムモノデアルカ、其點ヲ伺フノデアリマス

○大久保政府委員 事業方法書等ニ於キマシテ、ソレノ方法ハ別段ドチラノ方ヲ主ニスルト云フヤウナ方針ハ立テ、居リマセス、是ハ唯其會社々々ノ方法ニ基キマシテ、營業上ノ資金ヲ運用スルト云フコトニナリマスノデス、左様御承知ヲ願ヒマス

○横川委員 サウ致シマス、主トシテ大阪式經營ノ會社ニ關シテ適用シ得ル範圍ノ改正ト云フコトニ相成ルト思ヒ

○大久保政府委員 事業方法書等ニ於キマシテ、ソレノ方法ハ別段ドチラノ方ヲ主ニスルト云フヤウナ方針ハ立テ、居リマセス、是ハ唯其會社々々ノ方法ニ基キマシテ、營業上ノ資金ヲ運用スルト云フコトニナリマスノデス、左様御承知ヲ願ヒマス

○横川委員 サウ致シマス、主トシテ大阪式經營ノ會社ニ關シテ適用シ得ル範圍ノ改正ト云フコトニ相成ルト思ヒ

マスガ、左様デゴザイマスカ。

○大久保政府委員

サウ云フ風ナ場合

モ無論想像シナケレバナラスト思ヒマス、併シ其他ニ又營業上ノ資金ト云フ

モノハ、寧ロ會社ノ内容ニ依リマシテ

色々違ッテ居リマスカラ、ソレ等ノ資金

ヲ持ッテ居リマス所ニ付テハ、假令大阪

式デアッテモ、ソレヲ利用シナイ場合モ

内容ニ於テアリ得ルデアラウト思フノ

デアリマス、會社ソレ自身ノ働キヲ幾

ラカナリトモ擴ゲタイト云フ趣旨デゴ

ザイマス

○横川委員 此問題ハ保留致シマシ

テ、第一條ノ既ニ松田君カラ御質問ガ

アリマシタ「但シ賭博又ハ」云々ノ項

ヲ存置スル必要ガアルト云フコトハ、

寧ロ業者ヲ保護スル意味デアルト云フ

風ナ御説明ガアッタノデアリマスガ、業

者ニ於テ其希望ノアリマセヌ際ニハ、

之ヲ削除スル御意思ハアリマセヌカ

○大久保政府委員 解釋上少シモ危険

ガナイナラバ、私ハ取リタイト考ヘテ

居リマシタ、所ガ色々解釋ノ點ニ付テ

ハ大藏省ダケデハイカスモノデアリマ

スカラ、相談ヲ致シマシタ結果、ヤハ

リ之ヲ置カスト類似ト云フ言葉モ先程

一寸松田サンノ御質問ニ付テ御答辯申

上デマシタヤウニ、類似ト云フ言葉ガ

非常ニ廣ク行キマス關係上、頗ル解釋

ニ困リマスカラ、ドウモ斯ウ云フ規程

ガナイト解釋ノ危險ヲ取ルコトニナル

カラ、吾々トシテハヤハリ安全ノ道ヲ

行カウト云フ趣旨デ存置シタ次第デゴ

ザイマス

○横川委員 考ヘ得ル範圍ノ類似ノ方

法ト云フモノハ多々アルト思ハレマス

シ、又ソレガ今マデハ多々アリ得タト

思フノデアリマスガ、現在此業法ニ從ッ

テ營業ヲシテ居ル健全デアアルベキ營業

者ニ於テ、類似ノ方法ニ依ッテ此最後ノ

條項ト、誤解ヲ招キ易イ方法ヲヤッテ

居ル者ガ多々アルヤウニハ感ゼラレナ

イノデアリマスガ、ソレハドノ位ノ程

度ニアアルモノデアリマスガ、數字的ニ

御説明願ヘマセウカ

○大久保政府委員 只今ノ仰セノ點ハ

數字的ニ一寸申上ゲ兼ネル次第デゴザ

イマスガ、可ナリ類似無盡ト云フノハ

色々ノ場合ニ於テアルノデアリマス、

會社自身ニ付テモ隨分無免許ノ者モ出

テ來ル問題デアリマス、一面ニ於テハ

無免許ノ無盡業者、一面ニ於テハ成ベ

ク類似無盡モ免許ヲ得ナケレバナラヌ

ト云フコトニシテ、免許ノ範圍ヲ吾々

トシテハ廣ク見ルト云フ譯ニナル、サ

ウスルト無免許ノ者ハ減ルト云フコト

ニナリマスカラ、サウスルト類似ト云

フコトヲ相當廣イ範圍ニ解釋シナイト

イカヌコトニナリマスカラ、解釋上斯

ウ云フ風ナ結果ニナッタノデアリマス

○横川委員 私能ク分リマセヌガ「本

法ニ於テ無盡ト稱スルハ」ト、本法ト

云フコトヲ最初ニ於テ書イテ居ル以

上、其他ノ認可ヲ得ル以外ノモノニ付

テ特ニ規定ヲ設ケルト云フコトハ、餘

リニ無盡ト云フモノ、發達史的ノ見方

ニ捉ハレテ、現在及ビ將來ノ發達ノ道

程ヲ寧ロ誤解アラシメルモノデアルヤ

ウニ感ジマスガ、其點ハ如何デゴザイ

マセウカ

○大久保政府委員 類似ノ方法ハ可ナ

リ是ハ實際ニ於テモアリマス次第デア

リマス、此類似ノ方法ヲ出來ルダケ廣

ク解釋シテ本法ニ依ッテ本法ニ寄セテ

來テ免許ヲ申請シナケレバイカスト云

フ風ナ解釋ニ致ス譯デアリマス、ソレ

デ類似ト云フコトニナレバ色々ノ場合

モ想像シナケレバナリマセヌカラ、隨

テ但書ノ富籤其他ノ解釋上ノ問題ト觸

レル範圍ガ中々廣クナリマス、仍テ此

但書ノ必要ガアリマス、斯ウ云フ次第

デアリマス

○横川委員 御説明御尤デアルト思ヒ

マス、但シ御説明デゴザイマス、第

四條ニ於テハ三萬圓ト云フ規定ニナッ

テ居リナガラ、實際ノ取扱ハ十萬圓ト

ナスノデアルト云フヤウナ大藏省ノ取

扱ノ方法ヤ、解釋ノ方法ニ依リマシテ、

隨分法ヲ文字通りニ取扱ッテ居ラレナ

イ範圍モアルヤウデアリマスガ、ソレ

ト同様之ヲ反對ニ見マシタナラバ、第

一條ノ但書規定ノ削除ト云フコトハ、

何等業法ノ發展ノ上ニ於テ支障アルモ

ノトハ解サナイノデアリマスガ、第四

條ノ如キ御取扱ヲ屢行ハレテ居ル當

局トシテハ、第一條ニ於テモ同様ナ超

法律的乃至ハ達觀的ナ御見解カラ之ヲ

削除スルノ勇斷アラレンコトヲ切望ス

ルノデアリマスガ、其點尙ホ存置ノ必

要アリト御認デアリマセウカ

○大久保政府委員 第四條トノ御比較

ニ付キマシテ、第四條ハ總テ「以上」

ト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ以

テ行政上其方ガ便利デアルト思ヒマス

時ニハ「以上」ト云フ文字デ以テ働イ

テ居ル次第デアリマス、第一條ハ大體

ニ於テ法ノ定義ノ解釋問題デアリマシ

テ、以上トカ以下トカ云フヤウナコト

ヲ許シマセヌ問題デアリマスカラ、甚

ダ私等モ今ノ御趣旨ト第四條ト同一ニ

論斷スルコトニ困難ヲ感ジテ居ル次第

デアリマス

○荒川委員長 本日ハ此程度デ置キマ

シテ明日午前十時カラ開會致シマス、

本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時四十七分散會

昭和六年三月十日印刷

昭和六年三月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社